



ありがとうの思いを込めて「6年生を送る会」

学校長 小木曾敏樹

2月27日(火)、3~4時間目を使い、「6年生を送る会」を行いました。運動会、歌声交流会、南小大冒険、南あそびといった行事でも、委員会活動、1・6年ペア掃除、クラブ活動といった日常活動でも、そして、登下校でも、いつも中心になって、小さな子たちをいたわり、全校をリードしまとめてきてくれた6年生に、「ありがとう」の思いを届ける会です。コロナ禍では、テレビモニター越しに感謝を伝える送る会でした。昨年は1学年ずつ入れ替わり体育館で6年生にありがとうを伝えました。今年はようやく全校が体育館に集まって、みんなの前で6年生にありがとうを伝えました。

各学年、6年生に対するありがとうのメッセージとこの会のために練習してきた歌をプレゼント。5年生は、6年生の名前をあげながら思い出や感謝を伝え、リーダーのバトンを受け取る決意を伝えました。

そして6年生からも、みんなへの感謝のメッセージと、卒業式で歌う歌をプレゼント。最後は全員で校歌。卒業式には4年ぶりに5年生が参加しますが、全校で歌う校歌はこれが最後となるかもしれません。感謝の思いを伝えあうその時を、誰もがあたたかく見つめているそんなとっても素敵な「6年生を送る会」でした。



「まかせて」を行動で示した 5年生

この「6年生を送る会」は、5年生が全て企画・運営をしました。約1時間半の会の最中先生が進行を手伝ったり指示をしたりすることは一度もありませんでした。全て5年生のリーダーたちが自分たちで判断し進行していきました。会場の準備や飾りつけ、各学年への作業の依頼、そして、終わった後の片付けまで、5年生が行いました。

体育館の正面には、「ありがとう まかせて」という言葉が掲げられていました。5年生はこの会の運営で、「ありがとう まかせて」を6年生に行動で示しました。「やるな、5年生」・・・そう思わせる立派な動きだったと思います。



6年生との最後の「南あそび」

3月1日のお昼休みは、今年最後の「南あそび」。1年生から6年生までの異学年グループでの遊びです。グラウンドと体育館を使って、鬼ごっこやドッチボールなどを行いました。この日は天気も良くなり、6年生との最後の「南あそび」を楽しみました。鬼ごっこのグループは大きな子が小さな子の手をとって走っていました。ドッチボールのグループでは、ボールを小さな子にわたしては投げさせていました。6年生のことが大好きな1年生。小さな子たちのことを考え行動できるやさしい6年生。この姿を見て、南っこのやさしさは、次へ、またつぎへと受け継がれていくんだな。

休み時間が終わり、掃除のための移動の音楽が流れると、グラウンドにいた子どもたちが一斉に児童玄関に向かって走っていき、「南あそび」はおしまい。・・・この姿が本当に素敵なのです。歩いている子の数は圧倒的に少なくほとんどの子が走っていきます。

